

(データ日付は現地2018/10/12)

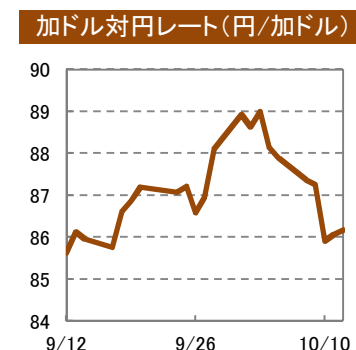
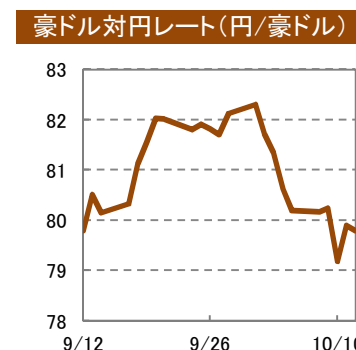
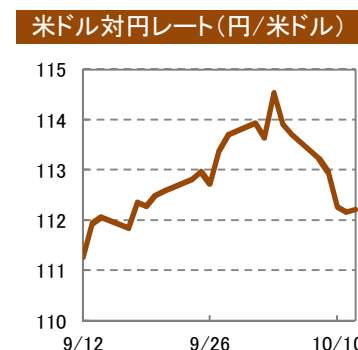
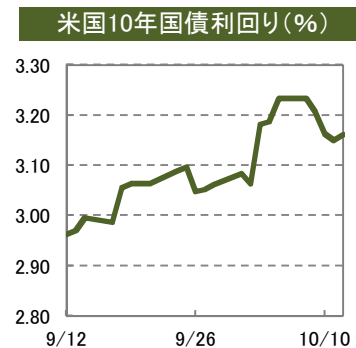
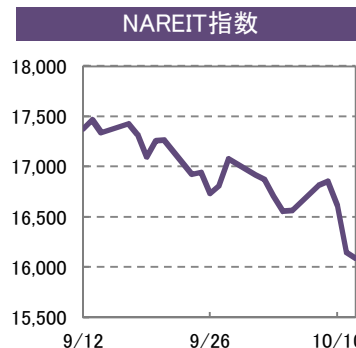
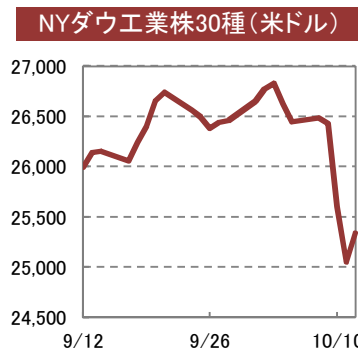
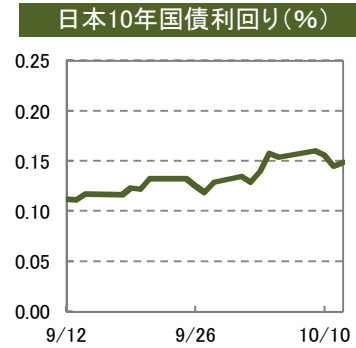
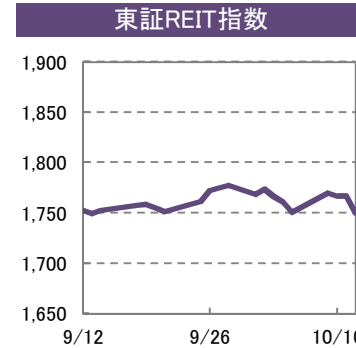
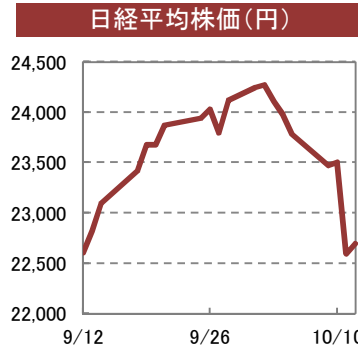
(グラフ期間は直近1カ月)

株式(円、米ドル)	終値	前日比
日経平均株価	22,694.66	+103.80
NYダウ工業株30種	25,339.99	+287.16

REIT	終値	前日比
東証REIT指数	1,749.93	▲16.78
NAREIT指数	16,094.78	▲54.70

国債利回り(%)	終値	前日比
日本10年	0.149	+0.004
米国10年	3.161	+0.011

為替(対円レート)	前日比
米ドル	112.21 +0.05
豪ドル	79.80 ▲0.10
加ドル	86.16 +0.10



(出所)ブルームバーグ

## 市況コメント

### 【国内株式市場】

10月12日の日経平均株価終値は22,694.66円で、前日比+103.80円、+0.46%と反発した。連日の米国株安を受けて投資家心理が悪化し、売り先行で取引を開始。米長期金利の上昇に一服感が見られたことを背景に金融株が売られた。しかし、昼頃発表された中国の9月貿易収支が市場予想を大きく上回り中国経済減速に対する警戒感が和らいだほか、株価の割安感を見直す動きもあり、結局前日比プラスで取引を終えた。

### 【海外株式市場】

10月12日のNYダウ終値は25,339.99米ドルで、前日比+287.16米ドル、+1.14%と4日ぶりに反発した。良好な決算発表が好感された金融株を中心に買いが先行したものの、買い一巡後に一部売りに押されたほか、午後にかけて米長期金利が低下したことで収益悪化懸念が強まったことも相まって上げ幅を縮小した。一時は前日比マイナスに転じる場面も見られたが、前日までの下落が目立っていたハイテク株に幅広く買い戻しの動きが広がり、引けにかけて相場を押し上げた。

### 【為替市場】

米ドル円レートは、東京13日6時(NY12日17時)現在、1米ドル=112.21円で、前日比+0.05円と小幅ながら円安米ドル高が進行した。中国や日本の株安に一服感が見られたことを背景に、リスク回避の流れが後退し、円売り米ドル買いが優勢となった。上値の重さが嫌気され値を崩す場面が見られたほか、NY時間ではNYダウの値動きにつられ上下するなど、株式相場の動きをにらんだ推移となった。

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和証券投資信託委託株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。■また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。